

大阪万博2025年9月

植 木 匡

現金が使えずスマホが必須と言われていた大阪万博に行ってきました。柏崎発6時58分の各駅電車に乗って北陸経由で12時6分に大阪駅に着きました。万博は初日が夜券、2日目が1日券の行程で、大阪のホテルに荷物を預け出陣です。

スマホによるパビリオンの予約は、ユーチューブによる予習によるとほとんど取れないようなので完全に諦め、並んで入れるパビリオンのみに絞る方針としました。手荷物検査のある入場ゲートは通過するのに30分以上かかり、アメリカ館の入場待ち時間が2時間の看板を横目で見ながら、とりあえず木造の大屋根リングに上がり会場を俯瞰したところ、どこも大込の闇魔市のような様子でした（写真）。とりあえず、リングを降りた付近の1時間待ちに並びましたところ、30分くらいで入場でき3個くらいに何とか入れました。展示は環境問題などのテーマに沿った壁一面の動画画面を見て回るので、人の流れが良く観覧時間は余りかかりません。夕食は世界の食べ物にありつけず、通りがかりにあったスシロー館前の誰も並んでいない弁当販売の海鮮弁当を購入し外のベン

チでの食事となりました。夜の噴水ショーとドローンショーは見るべきとの前情報より、パビリオン巡りを止め開始40分以上前から大屋根リングに上がり場所取りをしました。ショーが終わると同時に「のんびりしていると地下鉄に乗れないかもしれません」との放送があり、時計を見る間もなく一目散に帰りましたが、混んでいるスキリフト前のような行列の中を進み、地下鉄に乗るのに1時間くらいかかったような気がします。

翌日は平日でしたが、混み方は休日と違いはないようでした。昼食はフードコートの焼きそばで、夕方にはすぐどころか一段と混んでくる有様でした。人気とされるパビリオンはスマホ予約なしでは並ぶことすら許されず一つも入れませんでしたので、中の様子はユーチューブで体験するしかありません。

話が変わりますが、今年の柏崎高校同窓会総会で、高校の同級生であった渡辺洋一君の講演がありました。日経新聞のデジタル化で実績を積み、副社長をしているとのこと。彼のモットーは「変化は大歓迎、変化には進化で答える」で、さ

らに「AIの知識は人間を超しつつあり、AIをどんどん使いましょう」と強調していました。

万博での現金が使えない世界がどんな変化なのか期待しておりましたが、買い物や食事だけならいつもの電子決済と変わりありませんでした。万博パビリオンのスマホ予約は、取れそうにもないので挑戦しませんでした。病院を含め終わりのない電子化・AI利用への変換が進んでいます。進化の気持ちをもって前向きに適応していくしかないと思われます。

